

平成30年度 上武大学 大学院 経営管理研究科 シラバス

講義番号	授業科目名	財務会計特論A		担当教員	廣瀬 郁雄				
	英語授業科目名	Financial accounting A		単 位	2	学 期	前期		
対象年次	1・2年次	クラス指定	なし	他との関連	租税法特論AB				
履修条件	会計学の基本書程度のものを読んでおくこと。								
テーマ・副題	わが国の企業会計制度上の問題点の解明								
授業の教育目的・目標	わが国の企業会計制度は、会社法、金融商品取引法そして税法（とくに法人税法）の各法規にしたがって行なわれている。これらの法規上において実施されている企業会計制度上にはどのような諸問題があるか、それらを会計学的に分析して解明することを教育目標とする。								
授業の理解度の到達目標	わが国の企業会計制度もしくは会計実務において、現在問題となっている事項もしくはその矛盾点などを探り出して、その解決法を模索し、一定の結論を導き出せることがこの授業の理解度達成となる。								
授業キーワード	企業会計基準、国際財務報告基準（IFRS）、会社法、金融商品取引法、会計不正、税務会計								
授業の内容	授業参加者と協議して、会計学の基本書もしくは実務書をテキストとして選定して授業を進める。その中で、会計専門誌や新聞紙上等で最近において話題となっている諸問題なども積極的に取り上げて検討する。								
授業の方法	各回の授業ごとにテーマを決め、そのテーマに沿った最近の実例なども取り上げながら、討論形式で授業を進める。								
授業展開	<table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;">                     1. 会計学の基礎概念（ガイダンス）                      2. 財務会計の基礎概念                      3. 企業会計原則の内容                      4. 企業会計制度のしくみ                      5. 一般原則(1)－ 真実性、正規の簿記                      6. 一般原則(2)－ 資本利益の区別、明瞭性                      7. 一般原則(3)－ 継続性、保守主義、単一性                 </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top;">                     8. 現金主義会計と発生主義会計                      9. 収益の認識基準                      10. 費用の認識基準                      11. 収益・費用の測定基準                      12. 財務諸表の体系                      13. 損益計算書と包括利益計算書                      14. 貸借対照表と株主資本等変動計算書                      15. 注記と附属明細表                 </td> </tr> </table>							1. 会計学の基礎概念（ガイダンス） 2. 財務会計の基礎概念 3. 企業会計原則の内容 4. 企業会計制度のしくみ 5. 一般原則(1)－ 真実性、正規の簿記 6. 一般原則(2)－ 資本利益の区別、明瞭性 7. 一般原則(3)－ 継続性、保守主義、単一性	8. 現金主義会計と発生主義会計 9. 収益の認識基準 10. 費用の認識基準 11. 収益・費用の測定基準 12. 財務諸表の体系 13. 損益計算書と包括利益計算書 14. 貸借対照表と株主資本等変動計算書 15. 注記と附属明細表
1. 会計学の基礎概念（ガイダンス） 2. 財務会計の基礎概念 3. 企業会計原則の内容 4. 企業会計制度のしくみ 5. 一般原則(1)－ 真実性、正規の簿記 6. 一般原則(2)－ 資本利益の区別、明瞭性 7. 一般原則(3)－ 継続性、保守主義、単一性	8. 現金主義会計と発生主義会計 9. 収益の認識基準 10. 費用の認識基準 11. 収益・費用の測定基準 12. 財務諸表の体系 13. 損益計算書と包括利益計算書 14. 貸借対照表と株主資本等変動計算書 15. 注記と附属明細表								
成績評価方法	課題への取り組み方、授業での発表状況および授業態度などを総合して評価する。								
成績評価基準	課題発表及び積極的な討論をすることが重要である。 なお、出席状況が60%未満である場合には、成績評価が不合格になる場合がある。								
テキスト	授業の中で指示する。								
参考図書	「会計法規集」中央経済社								
準備学習に必要な時間、又はそれに準じる程度の具体的な学習内容	授業ごとに示されたテーマに対して、担当レポーターはレジュメの作成をしてくるとともに、2時間以上の参考文献を含む予習をしてくること。その他の学生は、テーマに対して最低1時間以上の予習をしてくること。								
学生へのメッセージ	日本の上場企業が行っている財務会計制度に興味をもっている学生であれば、どなたでも気軽に参加できる授業とってください。								
オフィスアワー	主に下記に示したメールでもって質問等を受けることにする。								
連絡先	電話番号	0274-42-2828		メールアドレス:	hirose@ic.jobu.ac.jp				
人数制限	なし								